

令和8年度

生活情報科 2学年

シラバス

(授業計画)



Kagoshima prefectural YAMAGAWA High School

鹿児島県立山川高等学校

令和8年度 全科共通【シラバス】

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	新編現代の国語						
副教材等	実践文字カトリプルチェック, パーフェクト演習 (尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> 授業では、学習内容をノートに記入したり、資料プリントを利用して理解を深めたりします。しっかり聞いて、考えて、自分の考えを発表しましょう。また、配付されたものは整理して綴っておきましょう。 授業中に分からないことがあれば、遠慮なく質問しましょう。 朗読や発表をするときには、できるだけ大きな声ではっきりと行いましょう。 復習をしっかり行うことで学習内容が身についていきます。

2 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価方法	定期考査, 課題考査等	提出物, 授業ノート, 発言等	授業態度, 発言, 出席状況等

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
1 学期	こそそめスープ	○	○	○	a:言葉の認識や思考を支える働きを理解している b:「読むこと」について要旨や要点を把握している。「話すこと・聞くこと」において伝え合う内容を検討している。 c:自分の考えをまとめ、話し合おうとしている	考査成績 提出物 発言等
	ルリボシカミキリの青	○	○	○		
	気になるニュースについて話そう	○	○	○		
2 学期	未来をつくる想像力	○	○	○	a:言葉の認識や思考を支える働きを理解している b:「読むこと」について要旨や要点を把握している。「話すこと・聞くこと」において伝え合う内容を検討している。 c:自分の考えをまとめ、話し合おうとしている	考査成績 提出物 発言等
	メディアとの付き合い方	○	○	○		
	水の東西	○	○	○		
3 学期	やってみよう	○	○	○	a:言葉の認識や思考を支える働きを理解している b:「読むこと」について要旨や要点を把握している。「話すこと・聞くこと」において伝え合う内容を検討している。 c:自分の考えをまとめ、話し合おうとしている	考査成績 提出物 発言等
	集めた情報の内容を検討して意見文を書いてみよう	○	○	○		

令和8年度 地歴公民科【シラバス】(全科共通)

教科	地理歴史科	科目	地理総合	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	046 帝国 地総90I 新地理総合(帝国書院)、地図帳(帝国書院)						
副教材等	わたしたちの地理総合 改訂版ワークブック(山川出版社)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度初めにワークブックを配布。毎時間、地図帳・教科書・ワークブックの3点を準備。 ・ ワークブックの空欄を埋め、教員の話聞きながら必要に応じてメモを取りましょう。 ・ 社会的事象に関して友達と話し合う時間や意見をまとめる時間もありますので、積極的に発言をしましょう。

2 学習の到達目標(学習指導要領 提示)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質や能力を養う。
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観念の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地理に関する諸事象に関して世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組を理解している。 ・ 地図や地理情報システム、資料などを用いて、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地理に関する諸事象の意義や特色等を、位置や分布、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用などに着目して、多面的多角的に考察したり、地理的な課題解決に向け考察、構想したことをもとに議論したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地理に関する諸事象について、主体的に追究、解決しようとするとともに、我が国の国土への愛情をもち、世界の多様な文化を尊重しようとしている。 ・ 自己の学習状況を客観的に振り返り、記録を残そうとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各テスト ・ 準拠ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各テスト ・ パフォーマンス課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リフレクションシート
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 学習の活動(単元の評価規準cについては、上記 学習評価に記載のとおり)

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学期	地図とGISの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 球面上の世界 ・ 国家の領域領土問題 ・ 国内や国家間の結びつき 	球面上での生活	○	○	○	a: 方位や時差、日本の位置や領域についての理解。地図や地理情報システムの役割や有用性について理解し、活用している。 b: 位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用方法などを多面的多角的に考察し、表現している。	各テスト 準拠ノート リフレクションシート
			領域問題			○		
			国家、観光、交通、通信、物流	○	○	○		
2 学期	生活文化の多様性と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境と生活文化 ・ 産業の発展と生活文化 ・ 言語や宗教と ・ グローバル化の進展 	各気候の生活	○	○	○	a: 世界の生活文化が地理的環境から影響を相互に与えることで多様性を持つことや環境の変化により変容することなどについて理解している。 b: 生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目、多様性や変容の要因などを多面的多角的に考察し、表現している。	各テスト パフォーマンス課題 リフレクションシート
			各国の農業、工業	○		○		
			世界の言語、宗教について	○	○	○		
3 学期	地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口・食料問題 ・ 居住・都市問題 ・ 資源・エネルギー問題 	人口と食料問題	○		○	a: 地球の様々な課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し、解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の知識組みや国際協力が必要なことを理解している。 b: 地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会作りなどに着目し、現状や要因、解決の方向性などを多面的多角的に考察し、表現している。	各テスト パフォーマンス課題 リフレクションシート
			世界の居住・都市問題			○		
			再生可能エネルギー	○	○	○		

令和8年度 全科共通【シラバス】

教科	数学科	科目	数学 I	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	数 I 708「高校数学 I」(実教出版)						
副教材等	高校数学 I スタディノート(実教出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・授業では教科書・スタディノートをベースに進める。必要に応じて、ノートを準備すること。 ・評価は定期考査・長期休暇明けの課題考査・授業態度・提出物等をもとに行う。 ・提出物は締切を厳守すること。

2 学習の到達目標

三角比	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有効性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。
集合と論証	数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。また、式を多面的に見たり処理したりするとともに、一次不等式の事象の考察に活用できるようにする。
データの分析	統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解し、数学的な表現・処理する技能を身につけている。	基本的な法則を活用して事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて表現することができる。	数学の論理や体系に関心を持ち、事象を数学的論拠に基づいて判断しようとする。また、数学のよさを認識し、活用しようとする。
評価方法	・定期考査・課題考査 ・小テスト など	・定期考査・小テスト ・授業態度 など	・授業態度・出席状況 ・提出物 など

上に示す観点に基づいて、学習のまともにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学期	三角比	三角比 三角比の応用	三角比の利用	○		○	a:三角比の意味と相互関係について理解する。 b:日常の事象について三角比の知識を用いて考察できる。 c:いろいろな事象を三角比の知識を用いて考えようとする。	定期考査 課題考査 小テスト 授業態度 提出物
			三角比の相互関係	○	○	○		
			三角比の拡張	○	○	○		
			三角比の面積	○	○	○		
			正弦定理・余弦定理	○	○	○		
2 学期	集合と論証	集合と論証	集合と要素	○		○	a:集合や命題について基本的な概念を理解する。 b:集合や命題の違いを理解し活用できる。 c:具体的な事象を集合や命題を利用して考えようとする。	定期考査 課題考査 小テスト 授業態度 提出物
			命題 いろいろな証明	○	○	○		
3 学期	データの分析	データの分析	統計とグラフ・代表値 データの散らばり	○		○	a:代表値や偏差などを求めることができる。 b:分析するデータによってそれに適切な値を選択し、適切に考察することができる。 c:身の回りのデータを集め解析しようとする。	定期考査 課題考査 小テスト 授業態度 提出物
			外れ値・相関関係 仮説検定の考え	○	○	○		

令和8年度 生活情報科【シラバス】

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	高校 生物基礎 Visual (実教出版 生基 007-902)						
副教材等	高校生物基礎 Visual エブリイノート 授業のまとめ						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

授業では、エブリイノートで基本的な内容をまとめる。
 評価は、定期考査、授業態度、提出物、小テスト等でおこなう。
 定期考査の誤りは、訂正プリントに整理・訂正する。

2 学習の到達目標

生物のからだの機能や調節のしくみ、生物の多様性と共通性、生態系について理解し、考える。
 そのために、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験、調査などを行うことを通して、生物や生物現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活との関連を図りながら物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験、調査などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとする態度をもっている。
評価方法	定期考査 小テスト	定期考査 エブリイノートの記述	ノートの記述、春・夏・冬休み課題 授業態度、訂正プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	生物の特徴	生物の特徴 遺伝子とその働き	生物の多様性と共通性	○	○	○	a:細胞の構造と働き、代謝や酵素の役割について理解している。 b:生活と関連付けて観察、実験等を行い、科学的に考察し表現している。 c:生態系を人間生活と関連付け、理解しようとしている。	定期考査 小テスト 授業態度 提出物
			生物とエネルギー	○	○	○		
			遺伝情報とDNA	○	○	○		
2学期	生物の体の調節	遺伝子とその働き ヒトのからだの調節	遺伝情報とタンパク質の合成	○	○	○	a:遺伝子の働きや恒常性維持のしくみについて理解している。 b:生活と関連付けて観察、実験等を行い、科学的に考察し表現している。 c:免疫を学び、自身の健康を維持する態度を身につけようとしている。	定期考査 小テスト 授業態度 提出物
			体内環境 体内環境の維持のしくみ	○	○	○		
			免疫	○	○	○		
3学期	生態系	生物の多様性と生態系	生態系、植生	○	○	○	a:生態系や生物の多様性について理解している。 b:生活と関連付けて観察を行い、科学的に考察し表現している。 c:環境保全に必要な実践的態度を身につけようとしている。	定期考査 小テスト 授業態度 提出物
			生物の多様性	○	○	○		
			生態系のバランスと保全	○	○	○		

令和8年度 全科共通【シラバス】

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3単位	年次	2年次
使用教科書	現代高等保健体育						
副教材等	現代高等保健体育ノート、ステップアップ高校スポーツ 2025						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・体育服、靴下、シューズの忘れ物がないように準備をしましょう。 ・自主的に活動に取り組み、運動習慣を確立させましょう。 ・課題を解決するための話し合いに自主的に関わり、発言をしましょう。

2 学習の到達目標

<p>(1)運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。
評価方法	筆記テスト、実技テスト	観察、ワークシート	観察、ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期		・体づくり運動 ・球技 ・ダンス	体づくり運動	○		○	a:生涯にわたって運動を豊かに実践するための技術の名称や行い方、体力の高め方について理解しているとともに選択した領域の基本的な技能や動きを身に付けている。 b:自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 c:運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように自主的に取り組もうとしている。	筆記テスト 実技テスト ワークシート 観察
			体ほぐしの運動		○	○		
			バレーボール バドミントン バスケットボール	○	○	○		
			ダンス	○		○		
2学期	体育	・ダンス ・陸上競技 ・体育理論 ・球技 ・武道	ダンス	○	○			
			短距離走 長距離走	○	○			
			体育理論	○		○		
			サッカー 卓球 剣道	○	○	○		
3学期		・体育理論 ・球技	体育理論	○	○			
			バドミントン 卓球 バスケットボール	○	○	○		

令和8年度 全科共通【シラバス】

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1単位	年次	2年次
使用教科書	現代高等保健体育						
副教材等	現代高等保健体育ノート						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、教科書とノートを持参しましょう。 ・ノートの空欄を埋め、教師の話聞きながら必要に応じてメモを取りましょう。 ・課題を解決するための話し合いに自主的に関わり、発言をしましょう。
--

2 学習の到達目標

<p>(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	ノート、単元テスト、発言	ノート、単元テスト、発言	ノート、単元テスト、発言
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯の各段階における健康 ・労働と健康 	ライフステージ・思春期と健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産・避妊法・人工妊娠中絶	○	○		<p>a:生涯を通じる健康について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>b:生涯を通じる健康について、健康に関する原則や概念に着目して判断するとともに、それらを表現している。</p> <p>c:生涯を通じる健康について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・単元テスト ・発言
			結婚生活・中高年期と健康 働くこと・労働災害と健康	○		○		
2学期	健康を支える環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・環境と健康 ・食品と健康 ・保健・医療制度 ・様々な保健活動 	大気汚染・水質汚濁・土壌汚染と健康 環境対策・ごみ処理・上下水道	○	○		<p>a:健康を支える環境づくりについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>b:健康を支える環境づくりについて、課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して判断するとともに、それらを表現している。</p> <p>c:健康を支える環境づくりについて、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・単元テスト ・発言
			食品の安全性・食品衛生		○	○		
			保健サービス・医療サービス・医薬品	○		○		
3学期			さまざまな保健活動 健康に関する環境づくりと社会参加		○	○		

令和8年度 全科共通【シラバス】

教科	外国語科	科目	英語 コミュニケーション I	単位数	3単位	年次	2年次
使用教科書	All aboard! English Communication I						
副教材等	英作基本文例600【第6版】						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・毎回ノートに予習をして授業を受けてください。ノートの書き方については授業で指示します。
- ・授業時に配付されるテスト対策プリントや参考プリントをファイルに綴じておいてください。
- ・定期考査や課題考査で間違えた箇所は毎回ノートに訂正してもらいます。

2 学習の到達目標

- (1) 日常のもしくは社会的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を身につける。詳細は別途 Can-Do リストで示す。
- (2) 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。
- (3) 実用英語技能検定(英検)の3~準2級程度の英語力を身につける。(CEFR A1~CEFR A2)

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどについて理解を深めるとともに, その知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的話題や社会的な話題について, 外国語で情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり, これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話して手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	・定期考査・課題考査 ・パフォーマンステスト	・定期考査・課題考査 ・パフォーマンステスト	・授業態度(授業時の発言や発表等) ・出席状況・課題考査 ・訂正や宿題等の提出物 ・パフォーマンステスト

上に示す観点に基づいて, 学習のまとまりごとに評価し, 学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて, それぞれの観点を適切に配分し, 評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学期	受け身と比較表現の理解	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	スピーチ文から歌川国芳が日本漫画の先駆者であることを読み取り, また絵を見てその内容を英語で表現できるようにする。	○	○	○	a: 音声, 語彙, 表現, 文法(受け身, 比較表現), 言語の働きを理解し, 適切に活用する技能を身につけている。に表現したり, 伝え合ったりしている。 b: 日常のもしくは社会的な話題を読み聞きし, その内容を的確に理解している。また, それをもとに適切に表現したり, 伝え合ったりしている。 c: 授業態度, 出席状況, 提出物が良好である。また, ある絵や関心のある人物について, インタビューをし, その意見を英文でまとめることができる。	定期考査 課題考査 授業態度 出席状況 提出物 パフォーマンステスト
		Lesson 7 A Diary of Hope	アンネ・フランクの紹介文から彼女の前向きな姿勢を読み取り, アンネの幸不幸について英語で意見を交換できるようにする。	○	○	○		
2 学期	現在完了形と分詞の理解	Lesson 8 A Door to a New Life	分身ロボットを用いれば重傷者でも社会に貢献できることを読み取り, とある商品に関するプレゼンを英語で発表できるようにする。	○	○	○	a: 音声, 語彙, 表現, 文法(現在完了形, 現在分詞と過去分詞), 言語の働きを理解し, 適切に活用する技能を身につけている。 b: 日常のもしくは社会的な話題を読み聞きし, その内容を的確に理解している。また, それをもとに適切に表現したり, 伝え合ったりしている。 c: 授業態度, 出席状況, 提出物が良好である。また, 新型ロボットのアイデアやゴミ問題解決法をインタビューも踏まえて英語で発表できる。	定期考査 課題考査 授業態度 出席状況 提出物 パフォーマンステスト
		Lesson 9 Ghosts in the Oceans	プラスチック汚染と戦う二人の少女たちの運動を読み取り, 環境問題への解決策を英語で言えるようにする。	○	○	○		
3 学期	関係代名詞の理解	Lesson 10 Pigs from across the Sea	沖縄とハワイとの関係について読み取り, 海外の文化や社会を理解するために何が出来るかを英語で発表できるようにする。	○	○	○	a: 音声, 語彙, 表現, 文法(関係代名詞, 仮定法過去), 言語の働きを理解し, 適切に活用する技能を身につけている。 b: 日常のもしくは社会的な話題を読み聞きし, その内容を的確に理解している。また, それをもとに適切に表現したり, 伝え合ったりしている。 c: 授業態度, 出席状況, 提出物が良好である。また, 海外の文化や社会の理解を深めるために, 私たちに何が出来るかをインタビューも踏まえて英語で発表できる。	定期考査 課題考査 授業態度 出席状況 提出物 パフォーマンステスト
		Reading 2 Mujina	東京が江戸と呼ばれていた頃の怖い話。のっぺらぼうを題材にした物語で, 恐怖に震えた江戸の町を読み解く。					

令和8年度 生活情報科【シラバス】

教科	商業	科目	商品開発と流通	単位数	4単位	年次	2年次
使用教科書	商品開発と流通(東京法令出版)						
副教材等	オリジナル「商品開発」教材・ケーススタディー集						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

ビジネス全般についての基礎・基本的な知識・技術を学習し、商業活動全般において幅広く活躍できる人材育成を目指します。ケーススタディーにおいて、互いの良さを生かし、よりよい社会を実現しようとする態度を養うことを目標とし、自分で「深く考え」「主体的に」学ぶ時間を創造させ、解決する力を身に付けさせます。
当科目では資格取得を考えることなく、実社会の現状と課題をリンクさせ、外部資料や他教科と連携し、ICTを活用しながら実践的かつ積極的に取り組むよう進めます。家庭科と教科連携して商品開発に取り組みます。

2 学習の到達目標

- (1) 商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 顧商品開発と流通に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、商品開発と流通に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解し、商品の企画からプロモーションまでの様々な場面で役に立つ商品開発に関する知識と、流通の立場から捉えた取引対象としての商品に関する知識を身に付けている。	商品開発と流通をはじめとした様々な知識や情報などを活用し、商品開発と流通の動向や課題を発見するとともに、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、科学的な根拠に基づいて商品開発と流通に関する計画を立案したり、提案したりしている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら商品開発と流通について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、商品開発と流通に関する学習活動に責任をもって取り組もうとしている。
評価方法	授業態度、定期考査や提出物への取り組み等	主に事例研究(ケーススタディー)により表現や理論立て	主に商品企画や調査・研究ができ、基礎的・基本的な知識を元に総合的に判断できるか

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1学期	第1~2章	商品開発の基本 商品の企画	・商品の多様化について学ぶ。	○	○			a:単元への関心,意欲 b:諸課題の解決,適切な判断 c:技術の適切な活用 d:単元の役割や意義の理解	定期考査,ケーススタディー,授業への取り組み
			商品開発の意義と手順を学ぶ。	○	○				
			・環境分析から入り,商品開発の意思決定や市場調査,企画書作成までの流れを知る。	○		○			
2学期	第3~4章	商品の開発事業計画	・売買業者の商品計画を知る。	○	○			a:単元への関心,意欲 b:諸課題の解決,適切な判断 c:技術の適切な活用 d:単元の役割や意義の理解	定期考査,ケーススタディー,授業への取り組み
			・デザインの基礎から,パッケージデザインを考える。		○	○			
			・流通の仕組みと市場を学ぶ。	○	○	○	○		
3学期	第5章	商品開発の動向と課題	・様々な視点をもった多様な職業や立場の人などと協働した観察とワークショップ,プロトタイプングなどを繰り返して新しい解決策を学ぶ。 ・商品開発の模擬的学習を実践(山川地区の特産品をPRするためのキャラクターおよびCM作成)家庭科と試作品に取り組む	○				a:単元への関心,意欲 具体的な事例と関連付けて分析し,考察する学習活動を行っているか。 b:諸課題の解決,適切な判断 c:技術の適切な活用 デザイン思考の重要性及び流通に配慮して商品を開発しているか。 d:単元の役割や意義の理解	定期考査,ケーススタディー,授業への取り組み

令和8年度 生活情報科【シラバス】

教科	商業科	科目	簿記	単位数	4単位	年次	2年次
使用教科書	高校簿記						
副教材等	簿記実務検定模擬試験問題集 CBT対応						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

簿記の基礎をなるべくわかりやすく身に付けさせるために動画や TV の講座を活用するのも近道だと思います。電子黒板の活用は板書等の時短になり進度を上げるのに効果的です。生徒が言葉で理解するのも大切ですが視覚・感覚で覚えるのも良いかと思います。仕訳等についてはメモ用紙を配付活用するのも効果的です。とにかく書かせる作業が大切です。

2 学習の到達目標

企業の仕組みや活動内容を理解し、企業の経営活動を一定の記帳方法にしたがって、帳簿に記録・計算・整理する技術を身に付けます。資格取得については、全国商業高等学校協会主催の簿記実務検定3級の取得を目指して取り組みます。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	簿記について理解し、関連する技術を身に付けている。	簿記に関する課題を発見し解決する力を身に付けている。	自ら学び、主体的・協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	検定試験への取り組み、取得状況など	定期考査, 小テスト, 諸課題等	授業態度, 提出物への取り組み等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学期	1・2 編	簿記の基礎, 取引の記帳と決算 I	企業の簿記, 簿記の要素	○	○		a: 単元への理解, 技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 提出物, 授業への取り組み
			取引と勘定, 仕訳と転記, 各帳簿	○	○			
			現金・預金の記帳, 決算 I, その他		○	○		
2 学期	3 編	取引の記帳と決算 II	手形取引の記帳 他	○	○		a: 単元への理解, 技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 提出物, 授業への取り組み
			その他の債権 他	○	○			
			決算2 その他		○	○		
3 学期	4 編	帳簿・伝票と記帳の効率化	帳簿	○	○		a: 単元への理解, 技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 検定への取り組み, 資格取得状況
			仕訳伝票と3伝票制	○	○			
			会計ソフトウェア		○	○		

令和8年度 生活情報科【シラバス】

教科	商業科	科目	情報処理	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	最新情報処理 新訂版						
副教材等	全商ビジネス文書・情報処理検定(情報基礎)模擬試験問題集						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

一年次に身に付けた基本的な Excel や Word の操作をもとに、さらに高度な知識や技術を学びます。まずは日々の授業を大切に、速度入力の練習を継続しながら、資格取得はもちろんですが、プレゼンテーションの意義や作成方法についてもさらなる技術力の向上に励み、個々の生徒がさらに独自のアイデアや応用力を活かした情報技術の習得を目指します。

2 学習の到達目標

・Excel や Word のさらに高度な演習問題、図形と画像の活用、プレゼンテーションの作成他
 ・全商ビジネス文書実務検定1,2級や全商情報処理検定3級などの資格取得を目指します。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報処理について理解し、関連する技術を身に付けている。	情報処理に関する課題を発見し解決する力を身に付けている。	自ら学び、主体的・協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	検定試験への取り組み、取得状況など	定期考査, 小テスト, 諸課題等	授業態度, 提出物への取り組み等

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	3章	情報の集計と分析(エクセルを活用)	ビジネスと統計	○	○		a:単元への理解, 技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 提出物, 授業への取り組み
			関数を利用した表, グラフの作成	○	○			
			情報の整列・検索・抽出 その他		○	○		
2学期	4章	ビジネス文書の作成(ワードを活用)	ビジネス文書と表現	○	○		a:単元への理解, 技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 検定への取り組み, 資格取得状況
			基本文書の作成	○	○			
			応用文書の作成		○	○		
3学期	5章	プレゼンテーション(パワーポイントを活用)	プレゼンテーションの技法	○	○		a:単元への理解, 技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 提出物, 授業への取り組み
			ビジネスにおけるプレゼンテーション	○	○			
			プレゼンテーションの演習他		○	○		

令和8年度 生活情報科【シラバス】

教科	家庭科	科目	保育基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	保育基礎(教育図書)						
副教材等	Life Design 資料+成分表+ICT(実教出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・授業では、板書のまとめや、ファイルのまとめをしっかりとってください。
- ・保育実習の心得や、実習の際に気を付けることを習熟してください。
- ・子どもの発達過程や関わり方について、理解して将来に活かして下さい。
- ・演習として、読み聞かせ・絵本作り・離乳食体験・幼児食実習・保育玩具製作等行いますので、積極的に取り組んでください。
- ・子どもや保育者など、自分と違う立場の人の視点や気持ちを想像して課題解決に取り組んでください。

2 学習の到達目標

- (1)保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2)子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的活創造的に解決する力を養う。
- (3)子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に態度
観念の趣旨	子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。	子どもの発達をふまえ、現状について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	子どもについての関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの発達や子育て支援に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。
評価方法	リフレクションシート・実習まとめ 定期考査	定期考査 実習レポート	授業態度・発言、定期考査 ワークシート・夏季・冬季課題 出席状況

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	子ども の 保育	保育の 意義 保育の 環境 保育の 方法	保育の意義			○	a:家庭保育と集団保育のそれぞれの特徴や役割を知り、子どもの発達に両方が必要であることを理解している。保育実習において安全に配慮し、子どもと適切に関わり、子どもが喜ぶ交流会の企画と実施をすることができている。 b:子どもの発達に大きな影響を与える保育の環境や子どもの接し方、保育環境の整え方について考え、判断している。 c:保育の意義と重要性に関心を持ち、人間形成への関わり方に関心を持っている。	・定期試験 ・授業態度 ・作品製作 ・保育実習 ・リフレクションシート
			保育の環境 家庭保育と 集団保育		○			
			保育の方法		○			
2学期	子ども の 発達 ・ 生活	子どもの 発達の特 性 発育と発 達 生活 生活習慣 の形成	発達の特性			○	a:幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を身につけている。子どもの発育や発達に応じた養護や適切な生活習慣の形成、健康管理と事故防止のために、養育者の働きかけや配慮が重要であることを理解している。子どもの生活と養護について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組むことができる。 b:子どもの発達に大きな影響を与える保育の環境や子どもの接し方、保育環境の整え方について適切に判断している。 c:乳幼児期の子どもに関心を持ち、乳幼児期の特徴理解に主体的に取り組もうとしている。	・定期試験 ・授業態度 ・作品製作 ・リフレクションシート
			発育と発達	○				
			健康と生活	○	○			
			食事	○	○	○		
			衣服と寝具	○	○			
3学期	福祉 ・ 文化	子どもの 福祉 子どもの 文化	児童観	○		○	a:児童福祉の理念と法規・制度について理解し、子どもの福祉に関する知識を身につけている。発達段階を踏まえて乳幼児の発育・発達を促す玩具を製作している。 b:子どもの生活と適切な養護について、課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫することができる。 c:子どもの生活や表現活動に関心を持ち、主体的に子どもの生活を理解しようとしている。	・定期試験 ・作品製作 ・リフレクションシート
			児童福祉の理念と法規・制度	○				
			文化の意義 文化を支える 場・遊び	○		○		
			表現活動	○	○	○		
				○	○	○		

令和8年度 生活情報科【シラバス】

教科	家庭科	科目	ファッション造形基礎	単位数	4単位	年次	2年次
使用教科書	ファッション造形基礎(実教出版)						
副教材等	家庭科問題集 被服編, 授業時に配布するプリント						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・1年生で学んだ知識, 技術を生かし, 発展した被服製作を学期ごとに行っていきます。
- ・家庭科技術検定(和服)(洋服)準1級の合格を目指します。
- ・製作のスケジュール管理が各自で出来るように計画を立てて進めていきます。

2 学習の到達目標

- (1) 被服の構成, 被服材料の種類や特徴, 被服製作などに関する知識と技術を習得する。
- (2) 被服製作やデザインに関する課題を発見し, 解決する力を養う。
- (3) 衣生活の充実向上を目指して自ら学び, 主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	被服の構成, 被服材料の種類や特徴, 被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに, 関連する技術を身に付けている。	被服製作やデザインに関する課題を発見し, ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	衣生活の充実向上を目指して自ら学び, ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	小テスト 定期考査・実技試験	定期考査 実習作品 レポート	計画表・課題提出 レポート

上に示す観点に基づいて, 学習のまとめりにあわせて評価し, 学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて, それぞれの観点を適切に配分し, 評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	被服の構成・和服製作の基礎	衣服の構成と和服の製作	人体と衣服	○			a: 人体構造と被服の関係性, 被服の構成による特徴の違いなどを理解している。 b: 被服の構成方法による相違や動作とゆるみの関係性について課題を発見し, その解決に向けて考察し, 工夫している。 c: 被服の構成について自ら学び, ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	定期考査 実技試験 作品製作 課題提出 計画表 レポート
			立体構成と平面構成衣服	○				
			和服(甚平)の製作	○	○	○		
2学期	被服材料・洋服製作の基礎	衣服の素材と洋服の製作①	衣服素材の種類	○			a: 被服材料の種類と特徴について, 実験・実習を通して科学的に理解し, 関連する技術を身に付けている b: 製作する被服の用途に適した被服材料の性能について課題を発見し, その解決に向けて考察し, 工夫している c: 被服材料について自ら学び, ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組んでいる	定期考査 実技試験 作品製作 課題提出 計画表 レポート
			衣服素材の性能と選択	○				
			洋服(シャツ)の製作	○	○	○		
3学期		洋服の製作②	洋服(ワンピースドレス等)の製作	○	○	○	a: 洋服製作の基礎について理解し, 関連する技術を身に付けている b: 洋服製作に関する課題を発見し, その解決に向けて考察し, 工夫している c: 洋服製作の基礎について自ら学び, ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組んでいる	定期考査 実技試験 作品製作 課題提出 計画表
			洋服・和服の着装	○				

令和8年度 生活情報科【シラバス】

教科	家庭	科目	フードデザイン	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	フードデザイン Food Changes LIFE (教育図書)						
副教材等	家庭科問題集 食物編						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・1年生で学んだ知識や技術を生かし、目的に合った献立を作成し、一人で調理が出来るようにします。 ・食物調理技術検定2級の合格程度の技術を身につけます。また、飾り切りなどより高度な調理技術も身に付けていきます。 ・目的にあったテーブルコーディネートを考えます。また、食育活動についても積極的に関わる態度を身につけます。
--

2 学習の到達目標

<p>家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を育成することをめざす。</p>
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観念の趣旨	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解すると共に、関連する技術を身につけている	食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決できる	食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている
評価方法	定期考査 授業プリント 調理実習 調理実習プリント	定期考査 授業プリント 調理実習 調理実習プリント	定期考査 授業プリント 調理実習 調理実習プリント
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	(2) ウフードデザインの構成要素	食品の特徴と調理	食品の性質と加工	○	○		a:食品の特徴と性質をふまえて調理実習にいかすことができる b:食品の性質と調理について課題を発見し解決することができる c:献立作成や弁当調理に試行錯誤しながら主体的に取り組んでいる	定期考査 小テスト 調理実習 献立作成 その他課題
			調理方法	○	○			
2学期	(3) アイウ フードデザイン実習	食品の選択と調理	日常食弁当 献立の調理	○	○	○	a:食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理、テーブルコーディネートについて理解し、技術を身につけている b:食事計画についての課題を発見し、その解決にむけて考察し表現できる c:自ら学び食生活を総合的にデザインするために主体的協働的に取り組んでいる	定期考査 小テスト 調理実習 献立作成 その他課題
			食品の選択と管理	○				
		食事テーマの設定と献立作成			○			
3学期		各国料理とテーブルコーディネート	各国料理	○	○	○		定期考査 小テスト 調理実習 献立作成 その他課題
			テーブルコーディネート		○	○		